

宿泊施設の取組への支援(一例)

宿泊施設のバリアフリー化支援

○補助対象

- ・段差解消や手すりの設置など、**バリアフリー化のための改修工事**に要する経費
(例:敷地内の通路、建物等の出入口、廊下、エレベーター、客室等)
- ・**備品購入によるバリアフリー化**に要する経費
(例:車いす、可動式スロープ等)
- ・**バリアフリーコンサルティング**に要する経費

○平成30年度より支援を拡充

- ・バリアフリー化の義務付けがある1,000㎡以上の改築について、**法令・条例で定める設置基準を上回る整備を新たに支援対象**に

- ・バリアフリー化の義務付けがない1,000㎡未満の改築等について、**補助率及び補助限度額を引き上げ**



<施設改修の事例>

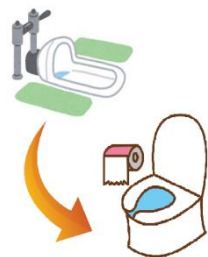
インバウンド対応力強化支援

○補助対象

- ①多言語対応
- ②無線LAN環境の整備
- ③クレジットカード等決済端末の導入
- ④館内及び客室内のトイレの洋式化
- ⑤客室の和洋室化
- ⑥館内及び客室内のテレビの国際放送設備の整備
- ⑦外国人旅行者の受入対応に係る人材育成
- ⑧上記事業に係るコンサルティング



<クレジットカード決済端末>



<トイレの洋式化>

多言語コールセンターサービス

- ・対応言語: 英語・中国語・韓国語
- ・対応時間: 24時間
- ・料 金: 無料 (ただし、各施設とコールセンター間の通話料金は施設が負担)
- ・サービス内容: 電話による通訳の他、施設内表示 E-mailの翻訳も実施



<利用イメージ>

観光ボランティアの育成・活用

東京都観光ボランティア

○趣旨

東京を訪れる外国人旅行者の多様なニーズに対し**観光案内等のサービスを提供**し東京の魅力を伝える。

○活動内容

- ・都庁・展望室案内ツアー
- ・都内の人気観光スポットをめぐる13コースの案内
- ・国際会議及びイベント等への派遣
- ・街なか観光案内

○登録者数

3,022名(平成30年4月時点)

「街なか観光案内」の実施場所(6地域)

新宿・大久保/銀座/浅草/上野/渋谷/臨海副都心(今後拡大予定)



おもてなし親善大使

○趣旨

次世代を担う**中高生を対象**に、外国人旅行者への対応方法や東京ならではの「おもてなし」手法を学ぶ講習会等を実施し、「おもてなし親善大使」を育成

○内容

東京の歴史・文化、外国人への接し方の学習や都内人気観光スポットにおける実地体験など

○大使任命者数(延べ人数)

805名(平成30年4月時点)



※東京2020大会開催時に合わせて空港や主要駅、観光地等における国内外の旅行者に対する観光・交通案内及び競技会場の最寄駅周辺における観客への案内等を行う「都市ボランティア」を平成30年9月中旬から募集予定。観光ボランティアは都市ボランティアの中核として活動する予定。